

「行事報告」

大愚道場・花まつり佛心大祭

5
2022

Jiko
The Light of Merciful
No.025 May.2022

慈光

Jiko The Light of Merciful

住職あいさつ
なぜ人は争うのか
社会に根付く歪んだ「最重要」



時間と空間と真理を巡る
仏教の旅



佛心僧学院
BUSSHINSOU GAKUIN

第4期 今秋開講



講師：大愚元勝

- ・30週集中オンライン仏教講座
- ・月に一回の生配信
- ・佛心会会員入学特典あり

詳細は佛心会メルマガ等でお知らせいたしますので、お待ちください。

〒485-0802 愛知県小牧市大草 5229 番地 大叢山 福厳寺 電話 0568-79-2183 FAX 0568-79-8265
公式 WEB www.daisozan.fukugonji.com 福厳寺報「慈光」2022年5月号 No.025 制作：ナーランダ出版

慈光

CONTENTS

- 4：住職あいさつ
「なぜ人は争うのか」
- 8：行事報告 1
三代忌・彼岸会・授戒会
- 10：行事報告 2
大愚道場（大阪・福岡）
- 12：行事報告 3
花まつり佛心大祭
- 14：住職コラム「新生活で疲れた人へ」
- 16：佛心翻訳クラブ活動報告
佛心大祭作品展
- 17：佛心僧学院学院生の声紹介
- 18：コラム
日本とブータン「豊かさとは何か？」
- 20：ご寄進者一覧
- 21：内弟子便り
- 22：山内便り〈桜プロジェクト〉
- 23：お知らせ／行事案内



慈光 2022 年 5 月号
発行：佛心宗 大叢山 福厳寺
〒485-0802
愛知県小牧市大草 5229 番地
発行人：大愚 元勝
編集：廣瀬 知哲 / 橋爪 善龍 / 竹中 大勇
文章協力：天野 瀬捺
制作：株式会社ナーランタ出版

佛心宗 福厳寺 どうぶつ 供養



これからも一緒に、ずっと家族。
”ありがとう”を伝え、命の尊さを語り合おう。

縁あって出会うことができた者同士は、必ずお別れの時を迎えます。生きているすべての命には、必ず死が訪れるからです。「一緒に過ごした時間が幸福であればあるほど別れの痛みは深く、容易に受け入れられることはできません。その悲しみは、とても自然な感情です。」

「ご家族の一員である動物が旅立ってしまった時、誰もが「もう会えないなんてウソだ」と現実を否定し、「どうしてうちの子が…」と怒りに近い感情が湧き、「もう一度だけ会いたい」と叶わぬ願いにさいなまれることでしょう。お寺の葬送儀礼

は、そうしたご遺族の心の揺れ動きに寄り添い、悲しみを乗り越える手助けをします。そこには、「死」や「苦しみ」を見つめ続ける仏教の知恵が流れています。

ご遺族は、真摯に供養することで愛する動物の死を受け入れ、少しずつ徐々に悲しみから脱却していきます。無理に「前を向こう」と思わなくとも、体の感覚で悲しみを受け入れられるようになるはずですよ。

残されたご家族が、健康に、明るく、強く生きること……。それが「あの子」への最高の供養です。

悲しみを乗り越え、
”あの子”の願いに耳を傾ける。



ご家族が前を向いて“生きていく”ために、慈愛に満ちたご供養を。

佛心宗 大叢山 福厳寺

〒485-0802 愛知県小牧市大草 5229 番地
【寺務受付時間：午前 9 時～午後 4 時まで】

どうぶつ葬儀 24 時間電話受付 TEL 0568-79-2183



▲HPはこちらから



なぜ、人は争うのか

住職あいさつ 文：大愚元勝

世界から戦争が無くならない 本当の理由

ロシアのウクライナへの侵攻が止まりません。

日本からウクライナへの飛行機の直行便はありませんが、隣国のオーストリアやドイツへの直行便は12時間程度です。飛行機で半日も飛んだら着いてしまう国で、今、戦争が起きています。

戦争は、今に始まったことではありません。

多くの日本人が「戦争は第二次世界大戦で終わった。この平和な時代になぜ、プーチン大統領は、戦争を仕掛けるのだろう」と考える一方、世界ではずっと戦争が続いてきました。

2001年9月11日の同時多発テロをきっかけに、アメリカは、アフガニスタンを攻撃しました。2003年にはイラクを、2011年には、アルカイダを攻撃しました。

プーチン大統領が武力行使をするのも、今回が初めてではありません。

第2次チエチエン戦争、ロシア・ゲルジア戦争、シリア内戦への介入、クリミア併合、ウクライナ内戦支援、カザフタンで起こったデモへの介入など、直接的にせよ、間接的にせよ、これまでも何度も軍事力を行使してきました。

誰もが平和に、豊かに暮らしたいと願っています。それなのになぜ、戦争が起きるのでしょうか。

その理由は、人間の飽くなき欲への暴走です。

個人の願いは、家族の健康と、快適で豊かな生活です。

企業の願いは、会社の存続と、株主利益の最大化です。

国家の願いは、自国の安全と国家の繁栄です。

社会に根付く、歪んだ「最重要」

これらを支えるために、私たちが共通して「最重要」だと信じていることは、何でしょうか。

「お金」です。

私たちの誰もが、個人にとって、企業にとって、国家にとって、最大の関心事、最大の心配事、最優先事項が「お金」だと信じている（信じ込まされている）のです。

そして、国家が自国の安全と国家の繁栄を守るために、最も大切だと信じていることが、「財力と武力」です。

大国になればなるほど、莫大な財力が必要となり、それを支える資源を求める。大国になればなるほど、強大な武力が必要となり、それを支える武器や技術が必要となる。

現在の大国はもれなく、過去

に侵略戦争を繰り返して大国になりました。だから大国になればなるほど、他国からの侵略に怯える。

かくして国家は、隣国より少しでも財力をつけ、最先端かつ世界一強力な武力を備えようと躍起になる。覇権国となつてその目的（自国の生き残りと繁栄）を達成しようとするのです。

これが世界から戦争が無くならない根本理由です。

そして、忘れてならないのは、戦争を起こしているのは、国家ではなく個人であるということです。

物理戦争もサイバー戦争も、勝手に起きているのではなく、武器の引き金を引き、ボタンを押しているのは人間です。

そのように意図して指令を下しているのは人間です。そして、被弾して血や涙を流すのも、同じ人間です。

なんと愚かなことでしょう。

地球上で最も発達したスーパーコンピュータである脳を持つ人間が、自分の利益のために同じ人間同士殺戮を繰り返す。

なんと悲しい現実でしょう。

誰もが平和に、豊かに暮らしたいと願っています。

誰もが苦を離れて、幸福になりたいと願っています。

そして、幸福になるための最重要事項を「金品」だと信じています。



人生の「優先事項」をあらためよ

今から2600年前のインドに、この人間の愚かさを、鋭く、厳しく指摘した人物がいました。

お釈迦さまです。

お釈迦さまは、本当に幸福になりたいのであれば、「最優先事項を変えよ！」と啓発なさったのです。

誰もが苦しいのは嫌です。貧しいのは嫌です。誰もが仲良く、明るく、豊かに、健康に暮らしたいと願っています。そのためには、金品、健康、良質な人間関係、知識、情報、技術などが必要です。

仏教でもそれは認めています。問題は、それら豊かに生きるために必要な条件の中で、

「金品」を最優先事項だと信じていることです。

なぜなら、もし個人、企業、国家が、「金品」を最優先事項だと信じたらどうなるか。それらを手に入れ、守るために、常に損得勘定をして、他を騙したり、他を利用したり、時に他を殺してでも自己の目的を達成しようとしてしまうからです。

では、どうすればいいのか？

お釈迦さまは、求めるべき最優先事項を、「金品」ではなく、「人格」に変えよと教えたのです。

日々の損得勘定を、「少しでも多くの金品を得られるかどうか」から、「少しでも自分

の心が成長するかどうか」に変えよ、と提案なさったのです。

現代社会において、「お金」はもちろん大切です。けれども、それを最重要事項、最優先事項として信じてしまうことで、私たちはずっと他人と争い続けてしまうのです。

世界は密接に関係しています。新型コロナウイルスのパンデミックしかり、ロシアのウクライナ侵攻しかり、他国で起こる出来事は、日本の政治経済、私たちの個々の生活や人生にも大きく影響します。

どんな戦争も、国家から始まるではありません。個人の「選択・意思決定」から始まり、集団に影響を与え、世界へ広がっていくのです。

世の中には、常に2種類の人間がいます。

①身の回りで起こる問題を、その本質をよく知ろうとせず、誰かのせいにして批判し、嘆き続ける人。

②問題を見出し、その本質や成り立ちをよく観察して調べ、自ら解決しようとする人。

「苦しみを手放して、幸福に生きたい」これが、すべての人の願いです。それを実現するのは誰なのか？

「4月8日は、お釈迦さまの誕生日です。」お釈迦さまは、生涯をかけて、「生きとし生けるものの幸福と、世界の平和」

を願い、人々に伝え、自ら実践した人です。仏弟子として、少しでも大師匠の「生きざま」になりたい。あらためてそう願うこの頃です。

各地の紛争、戦争が一日も早く終息することを祈っています。各国での新型コロナウイルスのパンデミックが、一日も早く終息することを祈っています。皆様の心身に起こっている、貪瞋痴の炎が、一日も早く終息することを祈っています。

生きとし生けるものが安穩でありますように。幸福でありますように。

佛心宗 福厳寺
住職 大愚元勝

合掌



佛心宗 福厳寺 第31世
大愚元勝 プロフィール

佛心宗 大叢山 福厳寺 住職。
(株) 慈光マネジメント 代表取締役。慈光グループ 会長。

僧名「大愚」は、大バカ者。何にもとらわれない自由な境地に達した者の意。駒澤大学、曹洞宗大本山總持寺を経て、愛知学院大学大学院にて文学修士を取得。僧侶、事業家、作家・講演家、セラピスト、空手家と5つの顔を持ち、「僧にあらず俗にあらず」を体現する異色の僧侶。愛知県小牧市に540年の歴史を誇る禪寺、福厳寺の弟子として育つ。

3歳で経を習い、5歳で葬儀デビュー、10歳で僧籍を取得するも、厳しい師匠や堅苦しいしきたり、「お寺の子」と噂される重圧に反発して寺を飛び出す。

32歳で起業。慈悲心を具現化したいと、複数の事業を立ち上げて軌道に乗せる。社員教育は人間教育であることを実感し、40歳を目前に寺に戻ることを決意。事業を後進に引き継ぎ、インドから日本に到るまでの仏教伝道ルートをはじめとする世界23カ国を遊行し、現代における寺や僧侶のあり方を問う。

平成27年に福厳寺31代住職に就任。令和元年には、仏教の本質に立ち返って「慈悲心、知恵、仏性を育む」ことを宗旨とする佛心宗を興し、従来の慣習や常識にとられない、会員制寺院として新たなスタートを切る。

現在は、住職としての職務のほか、内弟子僧侶の育成、インターネットを通じて「仏教の本質と実生活への応用」を学ぶことができる「佛心僧学院」、心技体を備えた次世代の経営者を育成する「仏教経営マンガラ研究会」を開催するなど、様々な切り口から仏教を伝えている。

今後は、人口減少、少子高齢化によって消滅しつつある地方寺院の復興モデルとして、「テンブルステイ」や「寺町構想」を計画、「人づくり、生きがいづくり、町づくり」をテーマに、「心も生活も豊かな、小さくとも美しい寺町を作ろう」と提案する「寺町構想」には、国内外の経営者から関心が集まっている。

また、過食、拒食、リストカットを繰り返す少女の母親からの相談をきっかけに始めた、YouTubeでのお悩み相談番組、「大愚和尚の一问一答」は、45万登録を超え増え続けている。

行事報告(二)

三代忌

2022年3月8日(火)

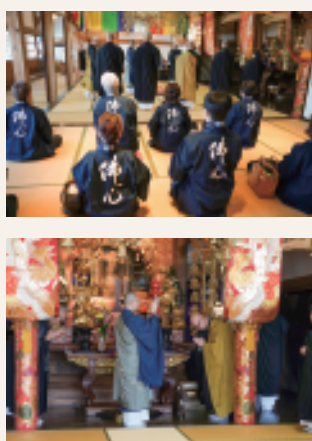
自らの原点を見つめる日



3月8日は福厳寺を開堂した、初代住職「盛禅和尚」の命日に行われる法要です。初代住職であるのに「師匠と兄弟子のおかげで、今の自分がある」と盛禅和尚自ら三代目を名乗ったことから三代忌と呼ばれています。

当日は、弟子達、佛心会会員、そして福厳寺にゆかりのある方々が集まり、自分たちの原点を振り返り盛禅和尚へ感謝をお伝えしました。

このような方々との関わりも、盛禅和尚が用意してくださった「仏縁」と気付き、弟子として日々の精進を心に誓う一日となりました。



「三代さま」と呼ばれた盛禅和尚

盛禅和尚さまは、神仏に対する信仰の深い両親の元にお生まれになりました。盛禅さまが12歳のとき、岡山県の高僧、霊岳洞源和尚さまが、静岡県森町の大洞院に住職として赴任される旅の途中に、盛禅さまの家に一夜を憩うことになりました。その際、霊岳和尚さまは、まだ子どもだった盛禅さまの骨相が奇秀であることに気づき、盛禅さまを弟子にすることにしました。

盛禅さまは、霊岳和尚さまのもとで得度しましたが、霊岳和尚さまが亡くなった後は、宝積寺にいる兄弟子、月泉性印和尚さまの下で修行を積みまます。月

盛禅さまは、事実上の開山でありながら、自分に仏縁と悟りをもたらしたお師匠さまをたて、福厳寺の御開山を最初の師である霊岳和尚さまと定め、兄弟子である月泉和尚さまを二祖とし、自らは「三代目」と名乗ったため、人々から「三代さま」と呼ばれ敬愛されました。



小牧市指定有形文化財 絹本着色盛禅画像

行事報告(二)

春の彼岸会

2022年3月20日(日)

亡くなった大切な人と繋がる日

桜が咲き始める春の陽気の中、地元大草護持会の方や佛心会会員の方々がご参りにいらっしやいました。

お彼岸の中日は古来から「この世とあの世が最も近くなる日」と考えられ、墓参りなどの供養がなされてきました。

法話では、死んでからでは無く、生きている間に人生が極楽に近づくための6つの知恵と実践についてのお話がありました。

儀式法要の中で、ご先祖さまに想いを馳せ、自分たちの人格を高めていくことを誓うことで、この世の私たちと、あの世のご先祖さまを「共に養う」一日となりました。



行事報告(三)

授戒会

2022年3月20日(日)

新しい自分に生まれ変わる日

授戒会はいこれまでの自分のあり方をあらため、正式に仏弟子となるための儀式です。授戒者は厳かな空気の中、仏法の上での師匠である住職より「戒」と「戒名」を授けられました。

戒は自分を縛るものではなく、これを守ることで、人を傷つけたり、人から傷つけられたりすることから、自分を律し、守る盾となります。

また、新しく名前を授かることで、過去をあらため、新しい自分として生まれ変わった実感を得ることができます。

新たな人生を力強く歩むためのきっかけとなる、厳粛でおめでたい儀式となりました。



大愚道場

佛心会有志サポートメンバーの協力により
無事に開催することができました。

2022年2月27日 第二回 大阪 2022年4月9日 第三回 福岡

2022年2月27日に大阪府、4月9日に福岡県にて、大愚道場が開催されました。

当日は佛心会会員の有志サポートメンバーが中心となって、会場の予約から当日の段取りや受付、司会を担っていただき、大阪、福岡ともに、無事に開催することができました。

真剣にメモを取り話を聞く参加者の姿勢に呼応するように大愚和尚の講演にも熱がこもり、道場らしい熱意と活気に満ちた会となりました。



写真撮影協力：吉積 拓馬さん



福岡サポートメンバーの皆さん



大阪サポートメンバーの皆さん

大愚道場は仏教の知識を教わるだけでなく、体を動かして、体感を伴って仏教を学んでいくのが最大の特徴です。

例えば、正しい方法と、それを伝える存在(師匠)がいることで、これまで「できない」と思っていたようなことが「できる」ようになる過程が、その場で体感できるワーク。

そして、周りの人と、呼吸と意識を合わせることで、体の柔軟性が変化するワークなど、様々なテーマで実践的に学びを深めました。

今回も引き続きコロナウイルスのことがあり、会員さん同士の接触には配慮してのワークとなりましたが、今後の大愚道場では、よりブッダの教えを体感で学ぶための「体」を使った動きのある、ワーク、実践を取り

入れていきます。

大愚道場で一緒に学ぶサンガ(同じ志を持つ者同士)が繋がり、仏縁が広がっていくことも、私たちの願いの一つでもあります。が、当日は、はじめて道場でお出会う人同士の交流も見られ、ここで友達になったという方も多く見受けられました。

道場での学びと出会い、そして繋がりを大切にしつつ、これからも大愚道場は、全国各地で開催されます。

道場参加者より、一歩進んで仏教の慈悲心を実践する場として、佛心会会員より大愚道場の有志サポートメンバーを今後も募って参りますので、お力添えのほどよろしく願いいたします。

今後の大愚道場の日程

2022年6月25日(土) 仙台 / 2022年7月23日(土) 名古屋 / 2022年9月17日(土) 東京
2022年10月1日(土) 札幌 / 2022年11月19日(土) 大阪 / 2022年12月17日(土) 北九州
各会場の申し込みは、およそ1ヶ月前より開始します。HP・メルマガでのご案内をお待ちください。

出会いと学びと、気づきの道場

行事報告(五)

花まつり佛心大祭

2022年4月30日(土)

4月30日、福厳寺境内にて、「花まつり佛心大祭」が開催されました。

当日は、お釈迦様の誕生をお祝いする「降誕会(こうたんえ)」法要が本堂で執り行われました。

儀式の後は、方々お花に囲まれた花御堂のお釈迦様の像(誕生仏)に甘茶をかけてお祝いしました。

まつりの前日は雨で天気の心配もしていましたが、当日は快晴となりました。佛心宗の戒弟の方々(授戒を受けた仏弟子たち)にもお手伝いいただき、多くの方で賑わうお釈迦様の誕生をお祝いにふさわしい一日となりました。

午後からは大愚和尚による法話の他にも、写仏・写経・花まつりにちなんだ作品展などの催しがあり、参拝者同士が交流する穏やかな雰囲気になりました。

また、大愚和尚と修行僧、お寺のスタッフが皮から手作りした水餃子、境内山林で育ったタケノコをお寺で調理した「福厳寺メンマ」や「五目ご飯」などのグルメ屋台も盛況で、中でも「特製カフエオレ・特製杏仁ミルクティー」の販売テントには、長蛇の列ができ、子供から大人まで、参拝者のみなさんのお腹と心を満たしました。

あたたかな日差しのもと
仏縁と善友に
恵まれました



花まつり佛心大祭とは

旧暦5月8日は仏教を開いたお釈迦様の誕生日であり、すべての命の誕生を祝い、感謝する日でもあります。その生きとし生けるすべての命に感謝する心を「佛心」といい、その「佛心」を心に刻む命の祭典が「佛心大祭」です。

また5月は、福厳寺を総本山とする「佛心宗」の誕生の月であり、日本仏教の新たな一歩としての記念月でもあります。

仏教を開かれたお釈迦様の原点の教えに立ち返り、多くの方々が自分の命の尊さを再認識し、自らの能力を周りのために発揮する幸せを知り、それを実践していくための知恵を得る。そのような生き方を目指す人たちのための、お祭りが「佛心大祭」です。

お釈迦さまの誕生と
すべての命に感謝する日



仏教の「日々是好日経」が教えてくれること

新年度が始まり、1ヶ月が経ちました。新しい環境、新しい仕事、新しい人間関係、新しい生活。ゴールデンウィークも明けて、いよいよ本格的に新たな年度への挑戦が始まります。一通りの研修が終わり、「がんばるぞ!」という意気込みとは裏腹に、若干の慣れと疲れも出てきている頃かと思われます。すでに気持ちが悪くなり、後ろ向きになったりしている人もいることでしょう。

LINE 株式会社は、新社会人を対象に「新生活に向けて頑張りたいこと」や準備していること、不安に思うこと」などの調査を行い、その結果を3月22日に発表しました。

その結果によれば、3割以上が「期待でいっぱい」「期待のほう強い」と答えた一方で、78%が「仕事についていけないのか」、61%が「上司や同僚とうまくやっていけないのか」という不安を抱えているとのことでした。

私の元にも、そうした「不安な感情をどのようにコントロールしたらいいのか」という質問が数多く寄せられます。その答えを知るためには、まず「期待」と「不安」について、よく知る必要があります。

「期待」と「不安」。これらは裏腹のようであつて、実は一体です。期待が高まれば高まるほど、不安も強くなっていく相関関係にあります。それにしても、期待と不安の正体は一体なんでしょうか。

期待と不安の正体は、想像力です。

私たち人類は、脳が発達したことによって、二つの能力を手に入れました。記憶力と想像力です。記憶力が発達したことによって、私たちは過

去に思いを巡らせることができるようになりました。想像力が発達したことによって、私たちは、未来に思いを馳せることができるようになりました。しかも、そこに圧倒的な臨場感を伴って、過去や未来へ意識を巡らせることができるようになったのです。

しかし仏教から見れば、過去も未来も存在しません。「過去にこういう史実があつた」と記憶を辿って、空想することはできます。「未来にはこうなるだろう」と予測を立てて、空想することはできます。しかし、過去も未来も、「今ここ」に存在しているわけではありません。私たちの頭の中で、「過去や未来がある」と信じている。私たちの頭の中で「過去や未来」について、想像力を働かせて空想しているだけなのです。

というお経に由来しています。

「日々是好日経」は、パーリ語で Bhaddekarattasutta (バッデーカラッタ・スッタ) と言います。

Bhadda (バッダ) は、「この上なくよい」という意味です。今風に言えば、「めっちゃいい!」「ヤバい!」といったニュアンスです。

Ekaratta (エーカラッタ) は、「一日」。sutta (スッタ) は「経」です。このお経には、心をしなやかに、したたかに保つための、コツが書いてあります。

どんな日がやって来ようとも、その日夜、眠りにつく前に、「今日はとてもよい日だった」と言えるように生きるための、心得が書いてあります。ぜひ心穏やかならぬときには、このお経を声に出して読んでみてください。

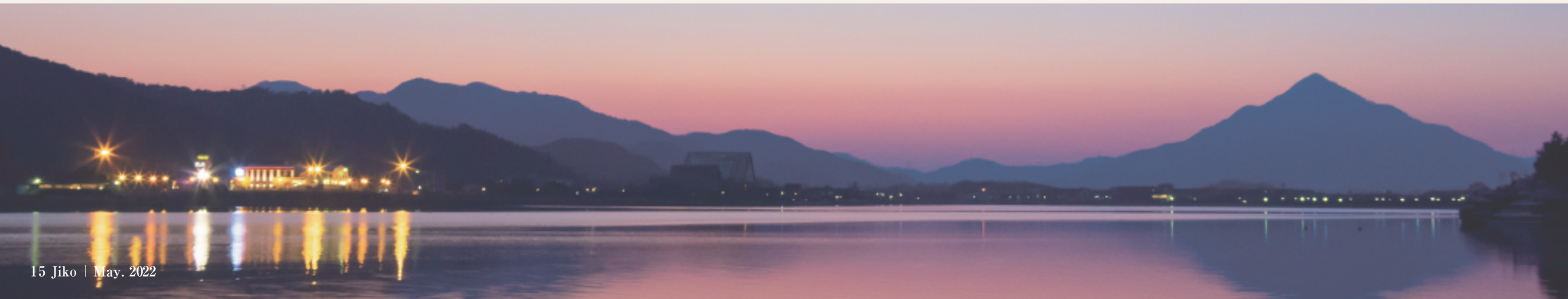
「日々是好日経」

過去を追うな 未来を願うな
過去はすでに過ぎ去つたもの
未来は未だ来ないもの
現存している現象を
その場その場で観察し
揺らぐことなく動じることなく
智慧者はそれを修めるがよい
今日こそ努め励むべき
誰が明日の死を知ろう
されば死の大軍に
我らわずらうことはなし

いたずらに明日を妄想して、期待と不安といった「感情」に翻弄されて疲弊するのではなく、「その日、その時、その都度、何が起きて自分ができるベストを尽くす」そう覚悟して新たな日々に向かうこと。それが、ブッダが教えた、「日々是好日」に生きるための秘訣なのです。

文：大愚元勝

過去と未来への妄想を捨て「今ここ」に集中せよ



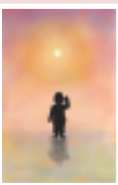
佛心翻訳クラブ活動報告



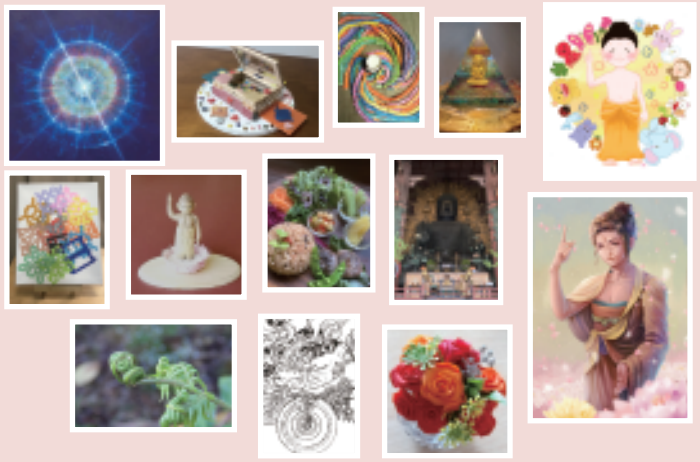
佛心大祭当日、作品展ブースを担当した翻訳クラブの皆さん



作品展へのたくさんの、ご応募ありがとうございました



先日行われた佛心大祭では、花まつりにちなんだアート作品の募集と展示会を開催し会員同士の交流の場としても、大いに盛り上がりました。



「大愚和尚の一問一答の動画を多言語に翻訳して、世界中の人に届けたい」このような思いを共有する有志が集まって佛心翻訳クラブは2021年4月にスタートしました。

最近では日本語を他の言語に書き換えるという狭義の「翻訳」を越えて佛心翻訳クラブの活動は大きく広がっています。それぞれの言語の翻訳グループに加え、以下のグループが活動し始めました。

日本語グループでは日本語字幕作成のほか、大愚和尚の教えをまとめる作業をしています。これらは後の翻訳や辞書作りを支える土台となっています。

辞書グループは翻訳の基礎となる禅語や大愚和尚の佛心語、そしてそれぞれの用語への大愚和尚の解釈を、

外国語ができなくても参加できます。ご興味のある方はお声がけください。

一問一答や大愚和尚の著書などを通して学び合い、翻訳し、佛心辞書を作成しています。

ノンビデオグループは福厳寺のニュースレター「慈光」の一部、オンライン記事、「Twitter」など、動画以外の様々な文書の翻訳をしています。

アートグループでは仏教や禅のコンセプトを視覚化して伝えています。動画サムネイル作り、絵や写真を添える活動です。大愚和尚の教えから得た感動を自分の感性でアートに変換し、芸術的な作品として伝えていくことを目指しています。

さらにメンバー同士が互いに智慧を開発し慈悲心を開花させる場として、英語による『仏教聖典』の読書会、大愚和尚の教えを学ぶ勉強会、辞書用デイスカッション、字幕ツールの勉強会、翻訳ワークショップ等も始まりました。

「私は外国語ができないか

ら参加できない」ということはありません。外国語ができない方であっても、日本語で活躍できる場が佛心翻訳クラブにはたくさんあります。

立ち上がって一年ほどのクラブではありますが、皆それぞれの仏性を作品の中に込めながら、各自ができることを自分のペースで進めています。まだまだ試行錯誤の真っ只中ですが、クラブもメンバーも共に少しずつ成長していればと考えています。

佛心翻訳クラブでは新規メンバーを随時募集しています。少しでも興味をもたれた方は、ぜひ佛心翻訳クラブにご参加ください。

メンバー一同、あなたと一緒に活動できる日を心よりお待ちしております。



学院生の声

佛心僧学院を修了した2期生に感想を伺いました。

仏

教は実践である」と大愚和尚が仰っていたように、実生活の中で講義の内容を思い出して、自分の周りではなく、自分自身に意識を向ける修練をしました。

例えば、佛心僧学院を受ける前は、腹が立つてしまつて消耗してしまつていました。しかし受講後は、腹が立っている相手に意識を向けるのではなく、自分の内側に意識を向けることで、だんだん怒り続けることが少なくなりました。

結果的に相手に腹が立つことが少なくなり、人間関係もうまくいくようになってきたように感じています。今後も教えていただいたことを実践していきます。



2期生 総彬持法さん

慈

悲心についての講義が印象に残っています。慈悲心は愛とは違うというところが難しくもあり興味深いところでした。人との関わりの中で、「今自分は、慈悲を意識できているかな?」「私を認めて」と、自分にばかりに気持ちが向いていないかな?と、落ち着いて自分自身にツツコミを入れられるようになり、「まずは相手に与えよう」と自然と思える心を育てることができたように思います。毎週の講義が、自分の心を整えりセットしてくれる「ペースメーカー」のようでありがたかったです。今後も自分のため、家族のために学び続けます。



2期生 香華一葉さん

知

らない場所を大愚和尚にガイドしてもらつて旅をしているような感覚で受講できました。地球の誕生から始まって現代の社会問題まで、和尚の知識量と幅広さに驚きました。仏教を学ぶのですが、歴史や心理学、量子力学、脳科学など、人間というものを色々な切り口から学ぶことができました。学院が終わったあと、気がつく自分の視野が広がっていることに気がつきました。そして、最後は感動して涙してしまいました。大愚和尚の最後の言葉がありがたく「胸をはって生きていこう!」と自分を鼓舞することができました。



2期生 知徳美妙さん

※今回掲載させていただいた3名の方は、佛心僧学院修了後、授戒会に参加し、仏弟子としてのお名前を授かっておられます。

佛心僧学院とは

佛心僧学院は、仏教を体系的に学ぶことができる、半年間の通信講座です。

仏教のみならず、ヒンズー教、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教など世界宗教の成り立ちや教義、仏教との違いなど、グローバルな時代を生き抜く現代人に必要な教養としての宗教学を学びます。

仏教講義では、ある特定の宗派に限定せず、インドから日本に伝わってきた歴史や、啓典の解説、空の思想、実践としての禅など、仏教の全体像を学びつつ、その核心に迫ります。

受講はインターネット環境があれば、パソコン、スマホで場所や時間帯を選ばず学ぶことができ、ライブ配信での質疑応答なども実施しています。



現在第4期開講へ向けて準備を進めております。WEB、メルマガ等の案内を、お待ちください。

豊かさとは何か？

ヒマラヤ山脈に抱かれ、中国とインドという大国に挟まれた小さな国、ブータン王国をご存知でしょうか。

ひと昔前に、国民総幸福度、GNH (Gross National Happiness) という調査の結果、国民の97%が『幸せと感じている』と回答したことから、世界で一番幸せな国として一躍有名になりました。

このブータンで首相を務めた人物に、ツェリン・トブゲという方がいます。この方のスピーチを聞いたのは、かなり前のことになりましたが、非常に心に響いたため、いつまでも忘れることができます。今だに一日本人として深く考えさせられます。

スピーチの題名は『CO2排出量マインスの国、ブータン』。TED Talks という様々なアイデアを世界に広めるYouTubeチャンネルがあります。ある晩このプレゼンを見たところ、個人的にかなり衝撃を受けました。残念で情けない気持ちがふつふつと湧き上がってきたのです。

なぜでしょうか。それは、このトブ

ゲ氏が伝えたメッセージは、そっくりそのまま日本人が話してもいいはずの内容だったからです。

ブータンと日本はその文化的、精神的ルーツに非常に多くの共通点があります。例を挙げると、両国とも、

- 1) 仏教国
- 2) 国土の7割が森林に覆われている
- 3) 主食はお米
- 4) 民族衣装は着物
- 5) 長年鎖国政策をとっていた
- 6) 宗教の多様性を維持
- 7) 英語教育に熱心
- 8) 政治を担う首相とは別に、国の象徴として皇室、王室の存在がある

ここまで似た国でありながら、過去半世紀に歩んできた道に明暗を分ける大きな隔たりがあったことに日本人として忸怩たる思いに耐えませんでした。トブゲ氏は言います。

「私たちの国は文化に富んだ社会を享受し、雄大な自然は手付かずの原生林の森に包まれています」と。

昨今、世界中が地球温暖化の取り組み

みとして、カーボンニュートラル達成、脱炭素社会を目指しこぞって様々な施策を始めています。各国がなんとかネットゼロに近づけようと努力をしています。

以下にトブゲ氏のスピーチの要点を抜粋してみます。

『ブータンはカーボンニュートラルな国です。現在、世界には200以上の国がありますが、カーボンニュートラルな国は私たちだけのようです。いや、この言い方は正しくありません。ブータンはカーボンニュートラル（ゼロ）どころか、カーボン・マイナスを実現している国なのです。国全体としては年間220万トンのCO2を発生させていますが、森林がその3倍以上を吸収してくれるため、実質は毎年400万トン以上のCO2を大気中から吸収しているカーボンシンク（炭素を吸い込む貯蔵場所）です。

それだけではありません。CO2を出さない再生可能エネルギーから得るクリーン電力を外国に輸出しています。現在、自国の水力発電から得るクリーンエネルギーは、

隣国へ輸出され約600万トン分のCO2をオフセットしています。

ブータンは、国内では森によって二酸化炭素を自国内で吸収できるカーボンシンクを確保し、外国に対しては温室効果ガスのオフセットに貢献しています。これは大変立派な事だと思っています。

世界では温暖化が進み、気候変動は現実化しています。その影響はブータンにも及び、氷河が溶け、洪水、土砂崩れを引き起こし、国中あちこちで災害が発生し国は破壊の恐怖にさらされています。

私が皆さんにお伝えしたいのは、ブータン国民、ブータン王国は地球温暖化を招くような行為は何ひとつしてこなかった。にもかかわらず、温暖化の被害はもろに受けている、ということです。』

私は心を打たれました。日本とブータンは非常に多くの価値観を共有しています。それなのに、日本の温室効果ガスの排出量は世界で5番目に多いといえます（2019年時点）

経済的豊かさを優先して忘れてしまった大切なこと

同じ思想、文化を共有しながら、片や地球に優しいカーボンネガティブを達成し、世界一国民が幸せな国を追求し続ける国となり、片や西洋の偏った経済至上主義を手本に選び、GDPが増えた減ったと数字を追いかける国となりました。

世界では今、地球が災害紛争等で将来住めなくなった時に備え、火星に人類を送るといふ壮大なプロジェクトに注目する中、ブータンは様々な制約条件の中にあつて、今も昔も変わらず自分の国を、自分の星をきれいにすることに一生懸命であるようにも見えます。私にはその方がとても地に足が付いているように感じます。

国民総幸福度（GNH）の方が国民総生産（GNP）よりも重要である」と、GNHの理念を提唱したのは、先代のシンゲ国王でした。1970年代のことです。同時期の日本は先進国並みの生活の豊かさを得ようと、必死になって高い経済成長の実現、GDPを上げることに邁進してました。

その一方、同じように決して経済的には豊かとはいえないブータンは、当時の国王の「私

の目指す国づくりとは、経済的豊かさを第一に据えるものではありません。国民の幸せと満足を高めることを支える、それが政府の仕事だと考えます。」というマニフェストに忠実に舵を切って進んできました。

もし、多くの日本人が古来から日本で大切にしていた価値に心を用いていたならば、誇りを持って文化伝統を維持してきたならば、今日の日本はどのような社会であつたことでしょうか。

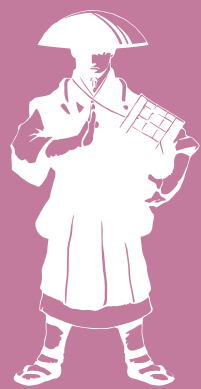
日本は森の国、海の国です。自然の恵みによって生かされてきた国です。カーボンシンクは主に森林と海です。その両方を併せ持っています。パンデミック、戦争と非常に不安定な時代を生きた私たちは、今もう一度原点に戻り、道理を見出すことを努めなければならぬのではないのでしょうか。

著者プロフィール…天野 瀬捺

千葉県出身。作家、通訳。禅寺に生まれ育つも、西洋に対する関心が強く20歳で海外へ飛び出す。オーストラリア、スイスに長期滞在した後、外資系航空会社のCAに。日本を外から眺めることを通じて日本人に特有の傾向や性質、さらに人間の本質とは何かを見つめ続ける。

2016年に『世界が憧れた日本人の生き方』を出版。国内では沖縄在住経験もあり。現在はカナダ在住。





内弟子便り

2022 Bhushin Uchideshi Dojo

2022
May



常に変化し続ける 環境、取り組み、自分自身

私の考えはこうだから、私はこう思う、私は今までこのようにして生きてきた、そういったものを一旦捨ててとにかく周りの言うことやることに徹底的に合わせてみる。そうすると今まで

福厳寺で修行していると儀式に参加する機会が多くあります。儀式では誰一人として好き勝手の行動は許されません。常に相手に合わせることで、全体の調和を乱さないことが前提となっています。その儀式においての姿勢を普段の生活に取り入れるようにしています。

内弟子3期生として入山し半年が経ちました。ここに修行に来たばかりの頃は、今までの生活との激変に戸惑い、ついでいくのに精一杯でした。そして日々の修行の過程で、自分の中にいかに心の膿が溜まっていたのかを思い知らされます。

もともとご飯を食べたい、もっと寝たい、これをした、あれはしたくないといった自分の欲求。どうしてこれをしてくれないのか、なんでそうするのか、自分だけが損をしているのではないのか、といった他者へ疑念と、欲求がたくさん出てくるからです。

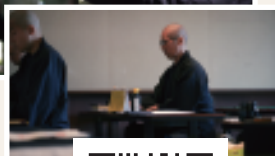
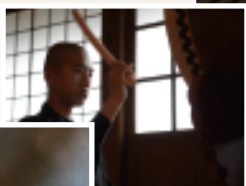
まだまだこれからやることはたくさんありますが、亀の歩みの如く確実に一歩一歩進んでいます。今まで何もなかったところに道ができ、花が咲いたと思つたらそれが緑一色に染まり、景色の変化が凄まじいです。いずれお寺の取り組みとしてのテンブルステイも始まります。これからの福厳寺の変化を楽しみつつ精進していく所存です。

合掌 拓岳真龍

竹林整備ではテンブルステイに向けて「人が傘を開きながらでも歩ける竹林」を目指して整備しています。たけのこ堀りで取ったものは食事として頂いたり、瓶に詰めて保存したりします。

今私は、修行僧の作務の進捗を管理するサブリーダー的立場をしています。現段階で取り組んでいる作務は畑づくり、数珠づくり、竹林整備、たけのこ堀りをメインに取り組んでいます。畑づくりは去年の秋から取り組み始め、今年の春に作物を植えました。数珠づくりでは今年の春、寿命を迎えた老桜から作っています。

の苦しみが少し楽になり、生活も過ごしやすくなったように感じます。



内弟子達の修行の様子を記録した「内弟子日記」youtubeで公開中→

ご寄進者一覧（令和4年1月～）

愛媛県松山市	柳原直美	神奈川県川崎市	八木英里奈
福岡県三潞郡	野口由美子	京都府長岡京市	北浦亜矢
福岡県飯塚市	松下純子	愛知県春日井市	清水維佐子
愛知県一宮市	伊藤安津子	埼玉県ふじみ野市	森重宏紀
大阪府交野市	上田登造	東京都杉並区	大川敬子
長野県上田市	中川陽子	兵庫県神戸市	島田富美代
愛知県名古屋市中	石井登志江	奈良県奈良市	川島泰代
岡山県倉敷市	財部美代子		佐藤三佳
岐阜県瑞穂市	布川孝実 知子		
山梨県山梨市	高木修 緑		
山口県岩国市	大歳晴栄		
熊本県熊本市	吉川直志		
大阪府東大阪市	細木優子		
神奈川県藤沢市	細田海人		
鹿児島県鹿児島市	前畑裕子		
愛知県春日井市	内藤紀子		
福島県福島市	衣川潤		
神奈川県足利下郡	菊入亜紀子		
東京都新宿区	高橋三保子		
新潟県上越市	山本恵子		
三重県四日市市	古川順一		
福島県福島市	菅野礼子		

野菜沢山	愛知県犬山市	清水維佐子
野菜沢山	愛知県小牧市	アスラン
お米沢山	愛知県名古屋市中	住ノ江慎吾
とまと沢山	大阪府大阪市	川原田雅俊
とまと沢山	長崎県五島市	浜口直子
レンコン沢山	茨城県取手市	水野初代
魚沢山	長崎県五島市	浜口直子
みかん沢山	愛媛県松山市	柳原直美
オレンジ沢山	岐阜県瑞穂市	布川知子
イチゴ沢山	岐阜県瑞穂市	布川知子
イチゴ沢山	愛媛県松山市	柳原直美
りんご沢山	岐阜県瑞穂市	布川知子
メロン沢山	岐阜県瑞穂市	布川知子
お菓子沢山	岐阜県瑞穂市	布川知子
お菓子沢山	東京都八王子市	島崎まゆみ
お菓子沢山	三重県津市	岩脇正彦
食品沢山	愛知県春日井市	渡辺立至
味噌沢山	福島県郡山市	佐藤栄子
アルコール消毒沢山	北海道北見市	三井雅子

沢山のご寄進、ご支援をいただき、感謝申し上げます。



佛心宗 内弟子道場 今秋募集

「慈悲心、知恵、仏性」を育み
社会の一隅を照らすことが出来る
堂々たる僧侶を養成します。

内弟子道場へのお問い合わせは、福厳寺受付まで
電話：0568-79-2183（9時～16時まで）
メール：contact@busshin.or.jp

佛心宗の修行カリキュラムは、
従来の伝統仏教のどの修行道場とも違います。

一般社会とかけ離れた
修養をするわけでもありません。

佛心宗の教義に基づいて、心技体を修練し、
慈悲心、知恵、仏性の3つの芽を開花させ、
社会の一隅を照らすことが出来る
堂々たる僧侶を養成します。

修行期間中に学ぶこと（一部）

仏教講座／身体作法／儀式所作／禅的思考法／
表現力（話し方・書道・文章の書き方など）／
自然と調和した生き方／坐禅（集中の技法）など
佛心宗僧侶に必要なこと全般

information 福厳寺住職 新刊のお知らせ

福厳寺住職の新刊「和尚が伝える心が軽くなるブッダの言葉（パワームック）」が5月16日より、全国書店ならびに、全国セブンイレブンにて販売中です。

「人生の達人」ブッダが教えてくれた後悔しない生き方のヒントをテーマに、写真やイラストをまじえて、わかりやすくまとめられています。

また本書は、一章…負の感情に振り回されない、二章…人間関係がうまくいく方法、三章…孤独との向き合い方、四章…生き方に迷わない、五章…老いや死を受け入れる、の五章立てになっており、仏教初心者にもわかりやすい入門書的な本となっています。

大洋図書 パワームック



〈福厳寺の老桜「最後の一花咲かせましょう」プロジェクト〉

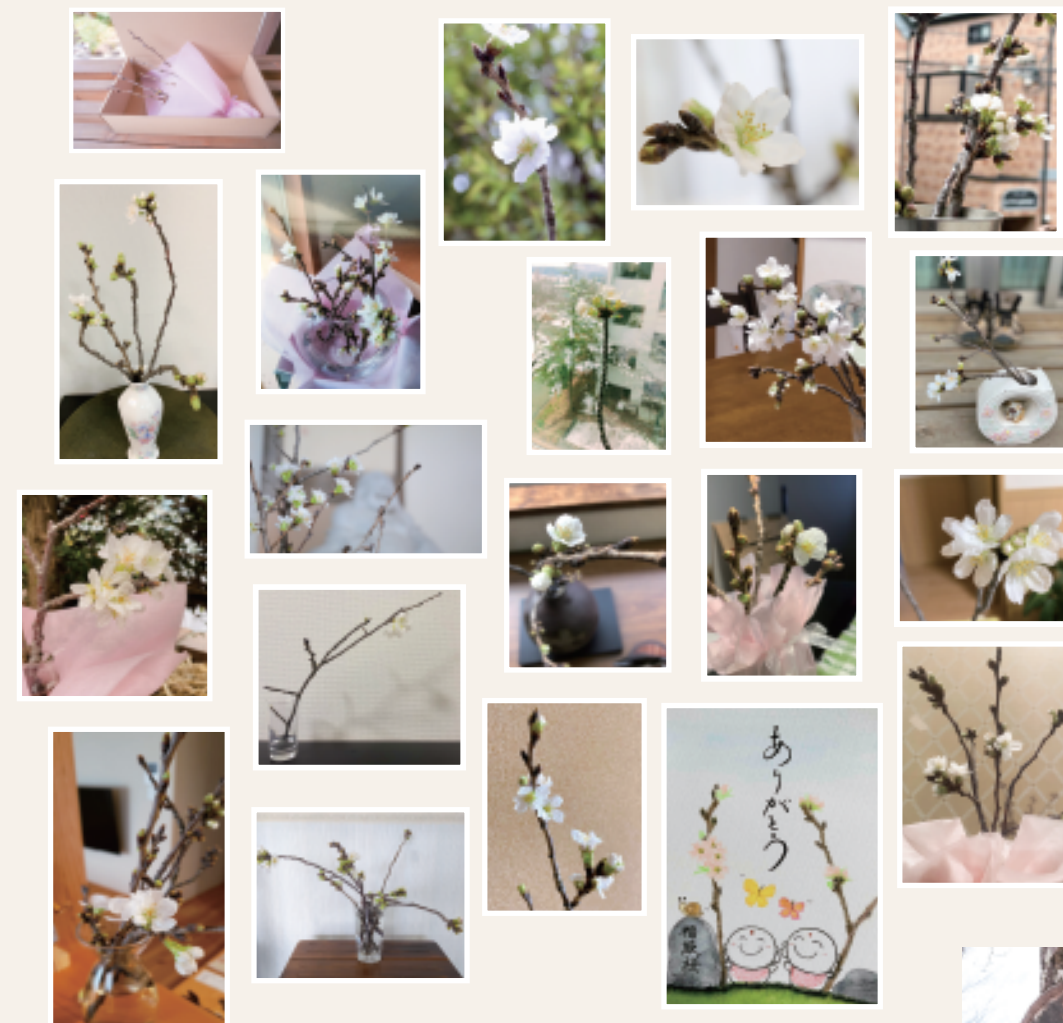


この春、約70年にわたって、私たちに癒しと励ましを届けてくれた、福厳寺桜が寿命を迎えるにあたり、最後の「一花を、希望者へお裾分けする企画」へ福厳寺の老桜「最後の一花咲かせましょう」プロジェクトが立ち上がりました。

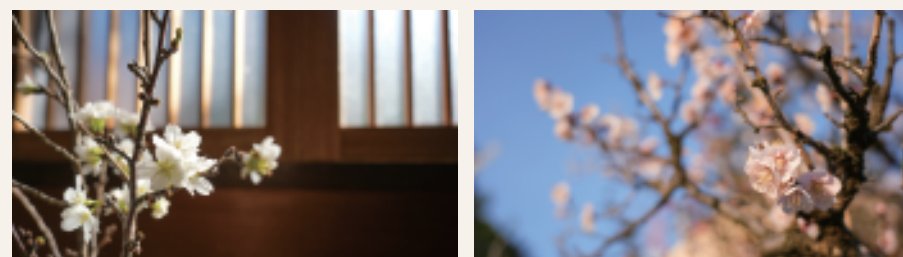
告知後、全国各地より応募があり、それぞれの地で開花させた、最後の「一花が、写真とともに福厳寺に舞い戻りました。桜を通じて広がった仏縁の輪を今後も大切にしていきたいものです。



福厳寺の最後の一花、全国各地で開花しました。



全国各地より、桜開花の写真をお送りいただきありがとうございました。



樹齢70年を迎え、幹が朽ちた福厳寺の老桜

Editor's Note

昨年の東京から始まった大愚道場は、今年に入り大阪・福岡と続き、今後も全国で開催されます。

各地の会場ごとに仏心会会員有志によるサポートメンバーも結成され、より道場の仕組みが整ってきているのを感じます。当日の会場でも、大愚和尚のお話に感銘を受け、同時に「同じ悩みを持ち、そこに共感できる友達（善友）ができたことが、とても嬉しい」という声が多く聞かれます。佛心に共感した多くの方が出会い、つながっていく仏縁を目の当たりにし、この活動の意義を実感する毎日です。

今後も慈光では、佛心を広め、会員さん同士がつながる架け橋となるよう、取り組んでいく所存です。

編集担当 廣瀬 知哲 合掌

Schedule 今後の福厳寺行事予定

※年間行事は、コロナの状況により、変更や中止する場合があります。



2022年6月 / 7月
大愚道場 仙台 / 名古屋

6月25日に仙台で、7月23日に名古屋で、大愚道場が開催されます。福厳寺住職から直接仏教を学びたい方はぜひご参加ください。9月以降の予定はWEBをご覧ください。



2022年8月4日～7日
お盆法要

お盆の先祖供養の法要です。一般は4日～6日の夕方、初盆は7日の午前中に行います。遠方などの理由で来山できない方には、リモート法要も受け付けております。



2022年9月
秋の彼岸慰霊祭

福泉苑、福德苑、福聚苑にお墓をお持ちの方を対象にした、秋の彼岸慰霊祭です。どうぶつ供養、永代供養も同時に御供養いたします。詳細はお問い合わせください。



2022年秋
秋の授戒会

福厳寺住職のもと、仏弟子としての戒律と戒名を授け、あらたな人生をリスタートする儀式です。詳細は今後WEB、メルマガなどでご案内いたします。

慈光編集室への感想
おたより、ご意見などは
contact@busshin.or.jp
までお送りください。

福厳寺 Official WEB
https://fukugonji.com
〒485-0802
愛知県小牧市大草 5229 番地
TEL 0568-79-2183

小牧 福厳寺

